

第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象) 編入学奨学金継続願(編入学の1)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり編入学しましたので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。

また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構構規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

※「編入学の1」 海外の学校を退学又は修了後に、同一学種の他の学校の修業年限の中途へ編入学する場合。(大学院→大学院) 編入学後も、海外留学支援制度の支給の継続が承認されている場合に限る。

■奨学生本人記入項目 ※太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ、本機構に提出してください。

| 奨 学 生 番 号 | | | | | | | | | |
|------------|---|--|---|---|--|--|--|--|---|
| 6 | 1 | | 0 | 6 | | | | | |
| フリガナ | | | | | | | | | |
| 氏名 (自署) | | | | | | | | | 印 |

| | | | | |
|------|------|---|---|---------|
| 記入日 | (西暦) | 年 | 月 | 日 |
| 生年月日 | (西暦) | 年 | 月 | 日 (満 歳) |

| 従前の在籍学校 | | | | 編入学後の在籍学校 | | | |
|-------------|---|---|--------------------------|-------------------|---|---|------|
| 学 校 名 | | | | 学 校 名 | | | |
| 学 科 ・ 研 究 名 | | | | 学 科 ・ 研 究 科 名 | | | |
| 最 終 在 籍 年 月 | 年 | 月 | 退学/ ※ 卒業・修了 (該当に○) | 編 入 学 年 月 | 年 | 月 | より在籍 |
| | | | | 卒 業 (修 了) 予 定 年 月 | 年 | 月 | 卒業予定 |

(注) 「編入学奨学金継続願(編入学の1)」は編入学後3か月以内に提出してください。3か月を超えた場合、継続は承認されません。

「奨学金貸与月額変更願」を同時に提出する・提出しない

- 提出しない ※貸与月額の変更を希望する場合は、この継続願と「奨学金貸与月額変更願」を同時に提出してください。
また、「連帯保証人・保証人記入項目」に署名・押印の上、印鑑登録証明書(各願毎に1通)を添付してください。
 提出する 月額変更に伴い保証料月額が変更となります。

■貸与総額が増加する場合は記入してください。(貸与期間(終期)の延長等)

| | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 変更後の借入金額 (予定) | | | | | | | | | | 円 |
|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|

- ※ 貸与総額の増加に伴い保証料月額が変更となります。
※ 「奨学金貸与月額変更願」を同時に提出する場合は、「変更後の借入金額」欄には月額を変更したうえで編入学後の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。

※現在の奨学生番号の貸与始期から編入学後の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。(入学時特別増額貸与奨学金分を含む。)
※借入金額を訂正する場合は、裏面の借入金額の訂正方法を参照してください。

〔連帯保証人・保証人記入項目〕

※連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)が必要です。
※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

| | | | | | | | | | |
|--------------|--|-----|---|---------|---------|------|-----|---|---|
| ※印鑑登録証明書を添付 | 私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 | 〒 | — | | | | | | |
| | 機構届出の 連帯保証人 | 住 所 | | | 実 印 | 電話番号 | () | | |
| | (自署) 氏 名 | | | | (昭和・平成) | 生年月日 | 年 | 月 | 日 |
| | | | | | | | | | |
| | 私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 | 〒 | — | | | | | | |
| 機構届出の 保証人 | 住 所 | | | 実 印 | 電話番号 | () | | | |
| (自署) 氏 名 | | | | (昭和・平成) | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | |
| | | | | | | | | | |

■本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

| | | | | | | | | | |
|----------|----------------------|--|--|-----|---------|------|---|---|---|
| 親権者又は後見人 | 住 所 | | | 実 印 | 電話番号 | () | | | |
| | (親権者・後見人) 氏 名(自署) | | | | (昭和・平成) | 生年月日 | 年 | 月 | 日 |
| | 住 所 | | | 実 印 | 電話番号 | () | | | |
| | (親権者) 氏 名(自署) | | | | (昭和・平成) | 生年月日 | 年 | 月 | 日 |

本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二人とも記入してください。いずれかがいない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。後見人がある場合は、後見人が自署・押印してください。奨学金申込時の「親権者又は後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

[様式5-裏]

1. 提出書類

- (1) 第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)編入学奨学金継続願(編入学の1)
- (2) 第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)異動願(復活)
- (3) 従前の在籍校の在籍期間がわかる証明書(日本語訳添付)
従前の在籍校の発行した「修了証明書」又は「成績証明書」などで、最終在籍年月が確認できるもの。
- (4) 編入学後の在籍校の「在籍証明書」(日本語訳添付)
編入学後の日付で発行された、編入学後の在籍校の発行した在籍証明書で、次の事項が明記されているもの。
記載必須事項: 編入学年月、修了予定年月、取得する学位
- (5) 貸与期間の延長を伴う場合:
編入学に伴い海外留学支援制度の支給期間が延長されたことが確認できる書類(コピー可)
- (6) 連帯保証人・保証人の「印鑑登録証明書」(原本、各1通)・・・(貸与期間(終期)の延長を伴う場合のみ)

2. 編入学に伴う貸与期間の延長のため、貸与総額が増額となる場合の借用金額の計算例

(1) 進学届提出時に申請した内容:

A大学院に2019年4月に入学、2020年9月に修了予定。2019年4月貸与始期で貸与期間は18か月。貸与月額50,000円。

貸与開始に伴い提出済みの返還誓約書の借用金額(当初の貸与予定の借用金額)

(A大学院) $50,000円 \times 18か月 = 900,000円$

※ 18か月・・・2019年4月～2020年9月 (進学届提出時に申請した貸与期間)

(2) B大学院への編入学に伴い貸与期間の延長が必要のために申請する内容:

A大学院を2019年12月に退学。A大学院での貸与期間は9か月。

B大学院に2020年1月に編入学し、2021年3月修了予定。貸与期間は15か月。

編入学に伴い、増額を希望し、奨学金貸与希望金額は 88,000円。

編入学による貸与期間の延長に伴い変更となった後の借用金額(今回の願い出に伴う変更後の借用金額)

$\frac{50,000円 \times 9か月}{(A大学院)} + \frac{88,000円 \times 15か月}{(B大学院)} = 1,770,000円$

(A大学院) (B大学院)

※ 9か月・・・2019年4月～2019年12月 (A大学院に在籍していた期間)

※ 15か月・・・2020年1月～2021年3月 (編入学し、B大学院に在籍する期間)

| | 従前の在籍校(A大学院) | | | 編入学後の在籍校(B大学院) | | | 貸与総額 |
|----------|--------------|------------------|------|-----------------|---------|------|------------|
| | 貸与始期 | 貸与終期 (最終在籍年月) | 貸与月数 | 貸与始期 (編入学年月) | 修了予定 | 貸与月数 | |
| (1) 当初予定 | 2019/04 | 2020/09 | 18か月 | — | — | — | 900,000円 |
| (2) 編入学後 | 2019/04 | 2019/12 | 9か月 | 2020/01 | 2021/03 | 15か月 | 1,770,000円 |
| 貸与月額 | 50,000円 | | | 88,000円 | | | — |

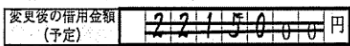
3. 変更後の借用金額(予定)欄の訂正方法について

奨学生に採用された後に月額の変更や貸与期間の延長・訂正に伴い、借用金額(予定)を増額する場合は、「返還誓約書」に記載した借用金額の増額となるため、本人及び親権者(本人が未成年者(20歳未満)の場合)に加え、連帯保証人と保証人にも同意を得たうえで署名捺印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要です。そのため、「変更後の借用金額(予定)」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正が必要です。

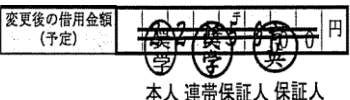
「変更後の借用金額(予定)」の訂正方法: 次の①②のいずれかの方法で訂正してください。

- ① 借用金額全体を二重線で抹消し「訂正印」を押し、余白に正しい金額を記入する。本人印に加え、連帯保証人と保証人の実印による訂正印が必要。
- ② 新たな用紙に記入する。

① 誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)



② 二重線の上に、訂正印を押印してください。
本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。



③ 正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

